

■ はじめに

本文書では、岐阜経済大学井戸ゼミのみなさんのLinux PCで、Javaを使えるようにする方法を説明します。

■ RPMファイルの入手

通常は、次のSunのWebサイトからダウンロードします。次の3つのファイルをダウンロードします。

- ・ (a) j2sdk-1_4_1-linux-i586-rpm.bin
- ・ (b) j2re-1_4_1-linux-i586-rpm.bin
- ・ (c) j2sdk-1_4_0-doc-ja.zip

授業では、おなじファイルをゼミでのネットワークからftpで転送してくることにします。

(1) ネットワークからのダウンロード

次のサイトにアクセスします。

<http://java.sun.com/j2se/1.4.1/ja/download.html>

現状、最新バージョンは“1.4.1”ですので、上記のようなURLとなります。最新のバージョンのファイルをダウンロードするようにしてください。

該サイトは次のようになっています。



上記の、(a)と(b)とのファイルは、①と②とをそれぞれクリックしてダウンロードできます。

①と②、それぞれをクリックすると、末尾に次のようになっているページが現れます。

2 vided for in this Agreement.

9. **Termination for Infringement.** Either party may terminate this Agreement immediately should any Software become, or in either party's opinion be likely to become, the subject of a claim of infringement of any intellectual property right.

For inquiries please contact: Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A.
(LPI#113729/Form ID#011801)

ACCEPT

DECLINE

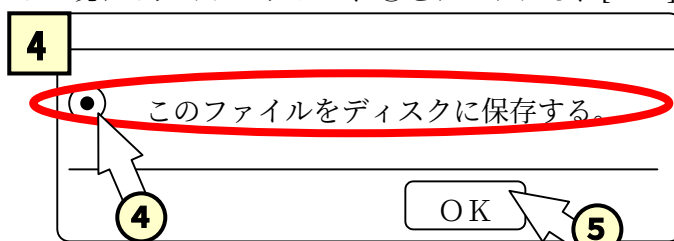
3

[Accept](③)をクリックすると、次のようなページが現れます。

3



③をクリックすると現れるダイアログにて、④をチェックし、[OK] (⑤) をクリックします。



保存先を問うダイアログが出ますので、適当なディレクトリ (例えば~/prm/RPMS/i386/j2sdk) を作成・選択して、[保存する]をクリックしてください。

3つめのドキュメントのファイル(c)は、上記 <http://java.sun.com/j2se/1.4.1/ja/download.html> のページ (すなわち、[1]の画面イメージ) の、末尾近くの次のリンクをクリックします。

5



画面イメージ[3]と同じように、[Accept]をクリックすると、次のようなページが現れます。



さまざまなサイトからダウンロードできるようになっている訳ですが、速そうなサイトを選んでクリックしてください(講師はどれが速いか知りません。East よりも West のほうが速い気がするくらいです)。

(2) 井戸ゼミのネットワークからダウンロード

(ア) 適当なディレクトリ(例えば~/rpm/RPMS/i386/)を作成して、そこへ移動してください。

(イ) 井戸のサーバ役PCにftpします。

ネットワーク構築実習時、/etc/hosts のファイルに次の行を追加したと思います。

```
192.168.0.10 left_ido.idonet.net left_ido
```

これが追加されている場合、次のコマンドを投入します。

```
% ftp left_ido
```

追加されていない場合、次のコマンドを投入します。

```
% ftp 192.168.0.10
```

(ウ) Name と Password とを順次入力します。Name は semi と投入してください。Password は口頭で説明します。

(エ) サーバ側でのディレクトリを移動してください。

```
% cd /rpm/RPMS/i386/j2sdk
```

(オ) ファイルをgetします。

```
% get j2sdk-1_4_1-linux-i586-rpm.bin
```

```
% get j2re-1_4_1-linux-i586-rpm.bin
```

```
% get j2sdk-1_4_0-doc-ja.zip
```

■ インストール

(ア) まず、スーパーユーザになってください。

```
% su -
```

Password : <パスワードを入力してください>

(イ) ディレクトリを移動します。

```
% cd rpm/RPMS/i386
```

(ウ) ディレクトリを作って、そこへ移動しておきます。

```
% mkdir j2sdk
```

```
% cd j2sdk
```

(ウ) 先ほどダウンロードしたファイル(a)(b)をコピーします。

```
% cp /home/xxxx/rpm/RPMS/i386/j2sdk/j2sdk-1_4_1-linux-i586-rpm.bin .
```

```
% cp /home/xxxx/rpm/RPMS/i386/j2sdk/j2re-1_4_1-linux-i586-rpm.bin .
```

※ 先ほどのダウンロードで、直接このディレクトリを保存先としても、もちろん結構です。その際には、mozilla/ftp の起動は、スーパーユーザになってから行います。

(エ) ファイルに実行権を付与します。

```
% chmod +x j2sdk-1_4_1-linux-i586-rpm.bin
```

(オ) j2sdk-1_4_1-linux-i586-rpm.bin のファイルを実行して、解凍を行います。

```
% ./j2sdk-1_4_1-linux-i586-rpm.bin
```

(カ) ライセンスなどに関する英文が出てきます。スペースを押下して続けていくと、ライセンスに同意するか否かの問いが現れます。これに”yes”と入力して、リターンを押下します。

```
Do you agree to the above license temrms?[yes or no]
```

```
yes
```

これで、j2sdk-1_4_1-fcs-i586-rpm というファイルが現れましたね。

(キ) rpmコマンドを投入して、インストールを行います。

```
% rpm -ivh j2sdk-1_4_1-fcs-i586-rpm
```

これで、/usr/java/jdk1.4.1 というディレクトリにインストールされています。

(ク) 上記の (エ) ~ (キ) を、j2re-1_4_1-linux-i586-rpm.bin についても行います。

(ケ) 続いてドキュメントのインストールを行います。ディレクトリを移って、ファイルをコピーし、ドキュメントのファイルを解凍します。

```
% cd /usr/java/jdk1.4.1
```

```
% cp /home/xxx/rpm/RPMS/i386/j2sdk/j2sdk-1_4_1-doc-ja.zip .
```

```
% unzip j2sdk-1_4_1-doc-ja.zip
```

■ 環境変数の設定

ここでは通常のユーザに戻ります (exit を投入)。

(ア) 自分のホーム (/home/xxxx) に移動します。ここで、emacs を用いて、”.bash_profile”というファイルに、次の行を追加します。

```
% cd
```

```
% emacs .bash_profile
```

(追加イメージ)

```
# User specific environment and startup program
```

```
PATH=/usr/java/j2sdk1.4.1/bin:/usr/java/j2re1.4.1/bin:$PATH
```

```
export PATH
```

■ 確認

一度ログアウトしてから、次のコマンドを投入してください。

```
% which java
```

```
/usr/java/j2sdk1.4.1/bin/java
```

■ おわりに

j 2 s d k のインストールについて説明しました。。

—以上—